

# スーパー特区の課題の選定

## 評価委員会

## 健康研究推進会議

### 専門的視点

応募  
(143件)

- 書面評価（1次）
  - ・書面評価委員により評価
  - ・分野について、
    - A-①iPS細胞応用、②再生医療
    - B-③革新的な医療機器
    - C-④バイオ医薬品、⑤その他の3つのグループに分けて評価
  - ・下記の各評価項目に基づき、総合的な視点から採点した5段階の「総合評価」を採点
  - ・ヒアリング評価を行う**51課題**を選定（分野毎の応募数に配慮）

### 総合的視点

- ヒアリング評価（2次）
  - ・**51課題**についてヒアリングを実施
  - ・採択評価委員により評価
  - ・全ての分野を一括して評価
  - ・下記の各評価項目に基づき、総合的な視点から採点した5段階の「総合評価」を採点

### 総合評価

- 採択候補課題の選定（採択評価委員による総合討論）
  - ・書面評価とヒアリング評価の「総合評価」の得点の平均点を合計
  - ・その合計得点を基本とし、
    - \*大学と企業とのバランス、
    - \*類似の提案については、連携して実施することがより有効であることとの点を考慮
  - ・**24件**の採択候補課題を選定
  - ・健康研究推進会議に採択候補課題を報告

### ○採択課題の決定

- ・健康研究推進会議として、評価委員会からの報告を検討
- ・応募された課題について適切に審査がなされ、スーパー特区として相応しい課題が選定されたことを確認
- ・**24件**の課題の採択を決定

### ○評価委員会

（委員長：斎藤英彦 名古屋セントラル病院長）

- ・書面評価委員
  - 専門的視点から、応募課題の書面評価を行う。
- ・採択評価委員
  - 総合的視点から、ヒアリング評価を行い、スーパー特区の採択候補課題を選定する。

### ○評価項目

- ①研究実施体制
- ②目指す成果の社会的意義・有用性、成果の実現可能性
- ③研究計画の妥当性
- ④研究計画の独創性
- ⑤特区の活用による相乗的な新規性
- ⑥成果実現のための「スーパー特区」の活用方策の有効性・具体性